

“禁煙”は難しいでしょうが…

がんの原因で喫煙は最も予防可能な原因

喫煙が健康に良くないという事はわかっていても、増税に伴って値上げされても、喫煙できる場所が少なくなっても、愛煙者にとっては、禁煙のハードルは高いようです。

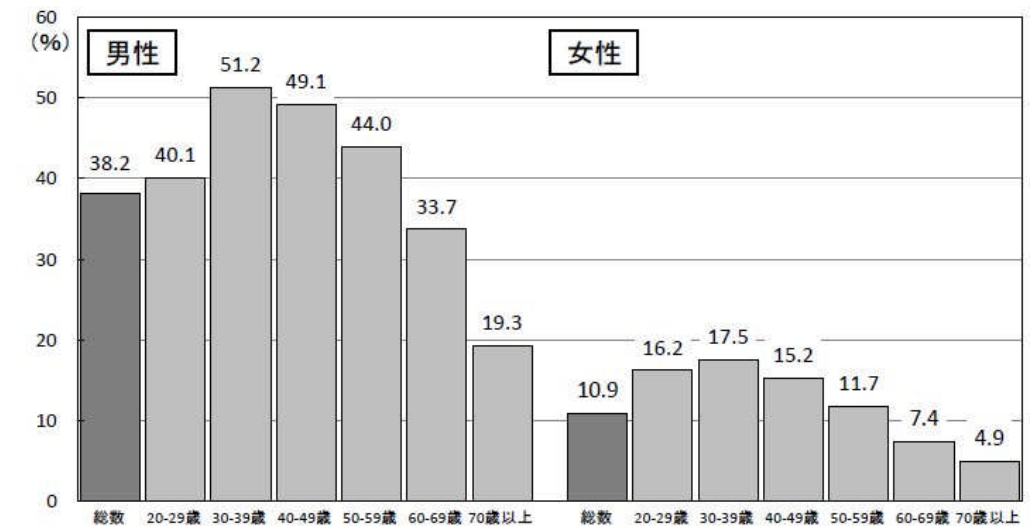
厚生労働省の「平成21年国民健康・栄養調査結果の概要」によると、現在習慣的に喫煙している人の割合は、男性は38.2%、女性は10.9%でした。年代別にみると、男女とも30歳代が最も高く、男性では51.2%、女性では17.5%となっています。次いで高いのは、男性では40歳代の49.1%、女性では20歳代の16.2%となっています。

※現在習慣的に喫煙している人：これまで合計100本以上または6か月以上たばこを吸っている(吸っていた)人者のうち、「この1か月間に毎日または時々たばこを吸っている」と回答した人
平成15年からの年次推移をみると、7年間で男性は46.8%から38.2%と減少していますが、女性は11.3%が10.9%と横ばい状況が続いています。

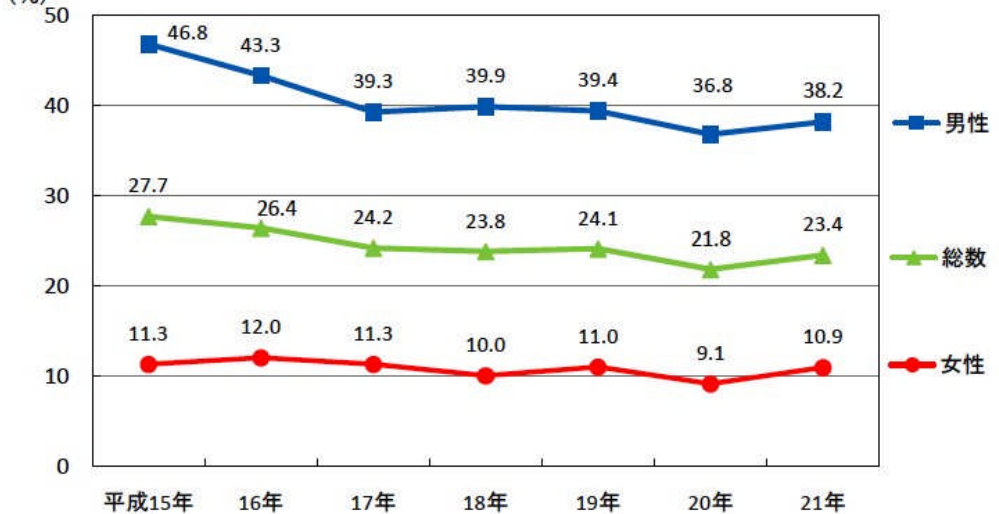
1日に21本以上吸う人の割合は、男性24.1%、女性8.4%です。そして、たばこをやめたいと思っている人は、男性31.7%、女性41.6%で、前年に比べ男性で3.2%、女性で

4.2%多くなっています。喫煙は、さまざまながんの原因の中で、予防可能な最大の原因です。禁煙をお勧めします。

性別・年代別の現在習慣的に喫煙している者の割合



習慣的喫煙者の割合の推移(20歳以上) (平成15年~21年の年次推移)



厚生労働省「平成21年国民健康・栄養調査結果の概要」より